

経営比較分析表（令和5年度決算）

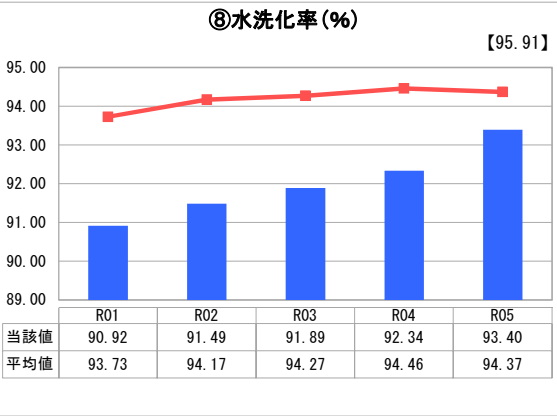
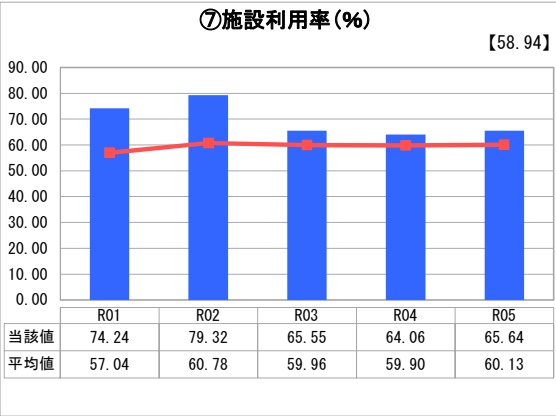
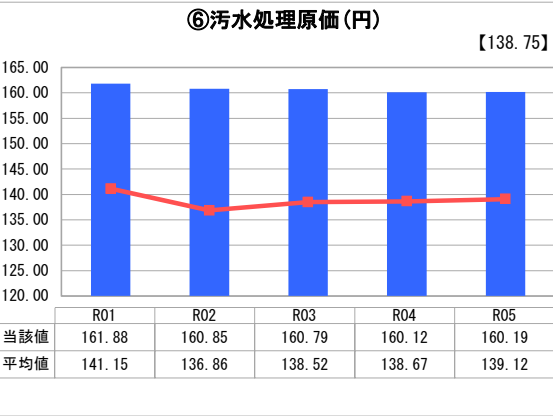
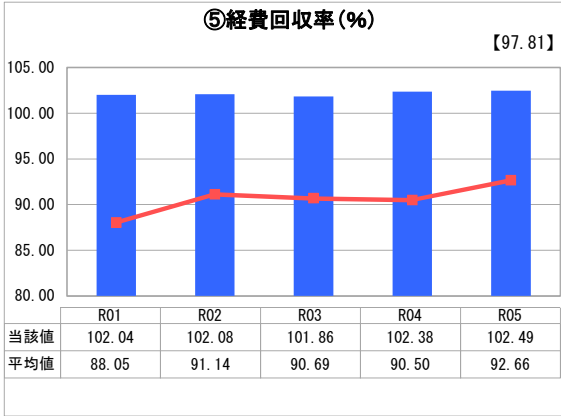
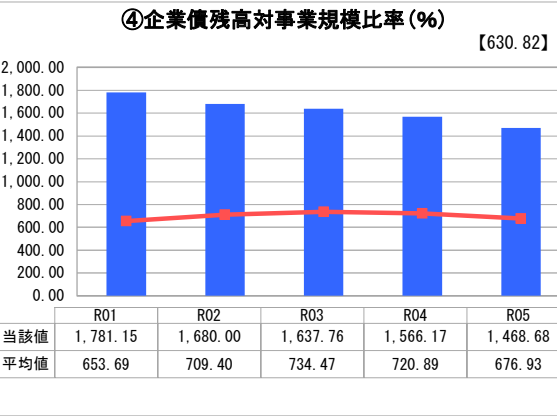
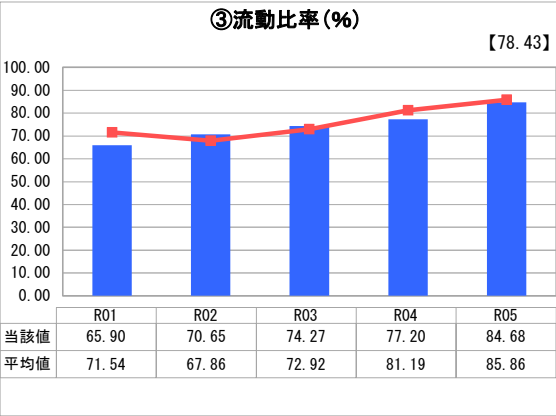
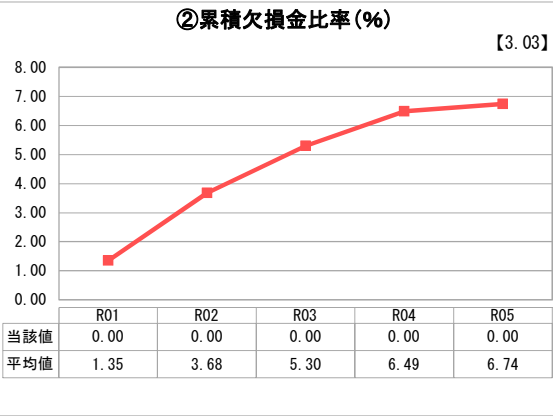
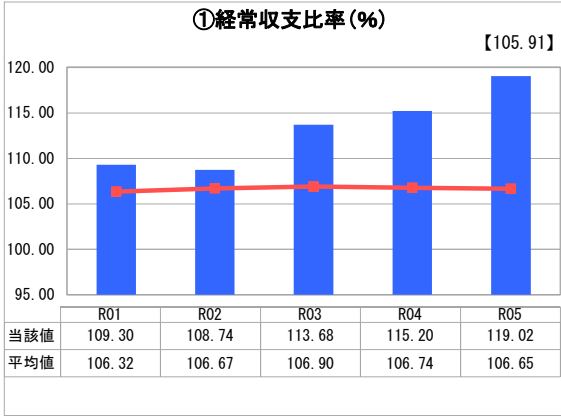
福岡県 福津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.24	95.26	84.24	3,256

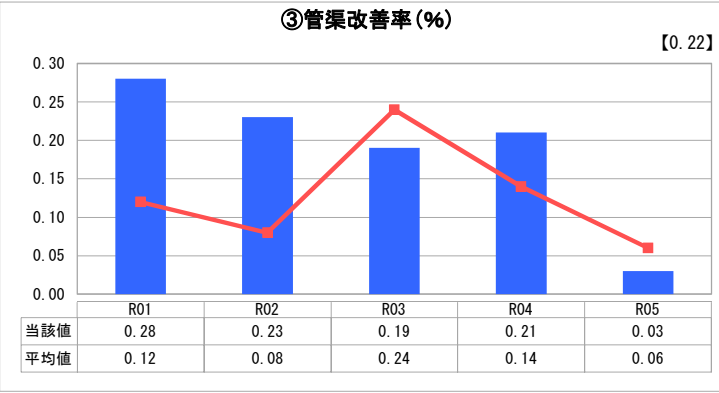
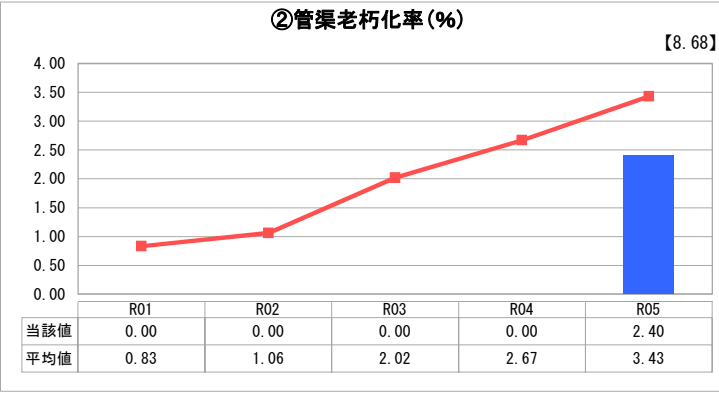
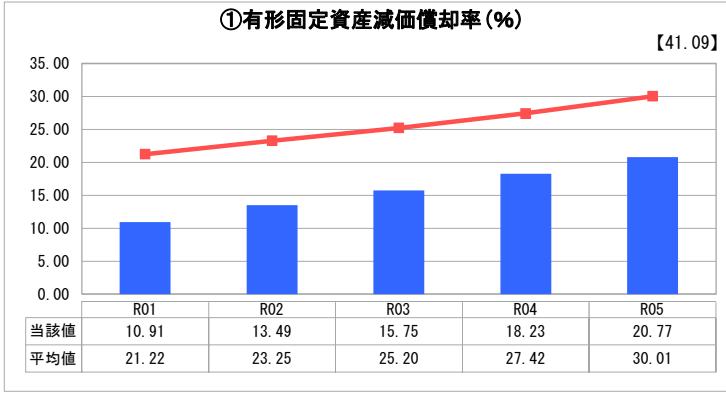
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,793	52.76	1,303.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
65,492	11.91	5,498.91

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
人口の増加や水洗化率の上昇に伴い使用料収入が増加しており、119.02%となっています。ただし、経常収益の中に含まれている基準外繰入金を除いて算出した場合100%を下回り、繰入金に依存した経営状況となっています。

③流動比率
上昇傾向ですが、100%には至っていません。今後も企業債償還金が増加する見込みであるため、資金の確保に努める必要があります。

④企業債残高対事業規模比率
使用料収入に対する企業債残高の割合で、類似団体と比較して、明らかに高い比率となっています。これは、市の政策として短期間で集中的に下水道整備を行い、その財源として多額の企業債を借り入れたことが主な要因です。企業債の償還金が年々増加しており、経営を圧迫しています。

⑤経費回収率
継続して100%以上を維持しており、健全な状態です。今後も100%以上を維持できるように収入の確保と経費の削減に取り組む必要があります。

⑥污水处理原価
処理場の地理的要因や、企業債の集中的な借入により利息の支払額が多いこと等から、類似団体の平均値より高くなっています。

⑧水洗化率
上昇傾向ですが、類似団体の平均を下回っているため、今後も接続促進に向けた努力が必要です。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管渠老朽化率
本市の下水道整備時期が遅かったこともあり、類似団体と比較して低い状況ですが、上昇傾向にあります。早期に宅地開発された大型団地では耐用年数を迎えた管渠もあり、老朽化対策として、ストックマネジメント計画に基づき、順次、管路調査や改築・更新を実施しています。

全体総括

管渠築造や処理場建設等の集中的な整備により、本市全体の普及率は、平成17年度の23.8%から大きく向上し、令和5年度では99.7%に達しました。経常収支は前年度に引き続き黒字となりましたが、繰入金への依存度が高い経営状況です。今後も使用料収入は微増する見込みである一方、企業債償還額の増加や、施設の老朽化に伴う修繕・更新費用の増加、物価の高騰等により、経営状況はより厳しくなることが予測されます。これらの状況を踏まえ、平成28年度に策定した経営戦略を令和5年度に改定し、今後の収入の確保、経費の削減、施設の長寿命化の在り方について、自立した経営に向けた方針を策定しました。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。